

3 学年通信

練馬区立八坂中学校
第三学年 7月号②
2025、7、18(金)

動かないことが疑いと恐れを生み出す。行動は自信と勇気を生み出す。

1学期も本日で終了です。受験は来年の1月・2月。まだまだ先だと思いませんか。しかし、そこまでいくためにはたくさんの課題を越えなければなりません。先のことを考えると落ちつかないという場合は、まず目の前の^{いち}一課題をこなし、その積み重ねでゴールに向かうと考えてはどうでしょうか。とにかく行動することが重要です。

夏休みにやっておくべき
6つのこと



1 これからのことを考える

自分にあった学校を選ぶために、きちんと自分に向き合う。3年間で何をしたいのか、絶対に避けたいことは何なのか。高校卒業後の進路にはどのようなものが考えられるのか。保護者の方にも悩みや希望をしっかりと伝えましょう。そして相談の上で進めていくのが大切です。周囲からのアドバイスを参考に自分の将来をしっかりと考えていきましょう。

2 学校見学、体験会、相談会に行く（または申し込む）

HPなどで具体的に調べ、実際に学校を見に行きます。空気を感じてくるのが大切です。説明会に参加する。体験学習に行く。相談会に行く。具体的にイメージをつかむために行動をおこしましょう。2回の進路説明会で、何度もいわれたことですね。それだけ大事だということです。申し込み受付が始まっているところもあります。確認しましょう。

3 計画的な学習を進める

計画を立てる。やる気がない人は特に必要。計画を立ててそれを淡々と進めていく。とにかくやる気はなくても、前に進めましょう。継続のために工夫してみてもいいでしょう。終わったら線で消す。塾の講習等に行く日は必ず、その日の復習(ノート整理などの)時間を確保する。1、2年の単元を問題集に最低一回はやり、弱点を見つける。できれば夏休み後半で弱点の部分をもう一度行う。模試を受けるなど。中学校の課題もきちんと計画的に。



4 先送りしてきたことを済ませる

夏休みになったら、夏休みになったら、と先送りしていたことをさっさと片付けましょう。明日でいいという生活から脱却しましょう。ESAT-Jの手続きは済みましたか。気になっている机周りの整理。気になっている虫歯の治療、など時間が必要なものは早めに片付けましょう。

5 生活リズムを崩さない工夫をする

やるべきこと、これだけはやらないことをきちんと押さえる。なし崩しにならないよう、家族に協力してもらいましょう。朝起きる時間、勉強を始める時間、寝る時間はきちんと守ることがポイントといわれています。家族の一員としても仕事もやり、特別な日々にしなないことも大切です。

6 2学期の準備をする

2学期はいきなり、授業、定期考査2、修学旅行、進路、そして学校行事も忙しくなってきます。後手に回らないように、スムーズなスタートのための準備を確実にしておきましょう。

9月1日(月) ①②始業式、学年集会、学活 ③授業(1理科 2歴史) ④帰りの会、清掃、下校

持ち物： 通知表(表紙のみ 保護者確認自署が必要) 夏休みのしおり 宿題

上履き(洗濯したもの) エプロン(持ち帰った人)

I 都立高校の場合

東京都立板橋高等学校 津田裕章先生

一人前の大人になるための高校選びです。大人になるまでの最後の3年間。ダメなことの指摘をしてもらえる、失敗が許される3年間。それ以上は相手にされないだけ。失敗はチャレンジの結果。チャレンジしなければ成長にはつながりません。

3歳年上の先輩には選挙権があります。3年後は18歳の成人＝大人です。高校に通っている間に大人になる人もいます。その3年間をどう過ごすのか、どこで過ごすのか、という視点が大切になってきます。

(1)中学校との大きな違い

①**卒業までのシステム** 中学校は学校が苦手でも、勉強が苦手でも自動的に進級、卒業ができます。高校は出席し、テストを受け、合格点をとって、はれて進級・卒業です。つまり、単位(ポイントのようなもの)を取って進級・卒業するのが高校のシステムです。

②**成績・内申点** 中学校は3年生2学期(1学期の成績を含む)の成績が内申点となります。高校には指定校推薦というものがありますが、これは1～3年生の全ての成績が関係します。

(2)高校生活のどこに目標をおくか。どう考えるかです。(成績+やりたいことで考えるといでしょう。)

①**学習** 受験勉強を頑張って、合格。しかし、学習が厳しく思うように成績が伸びない、ということも起きます。少し、余裕をもって受験し、合格。やりたいことをやりながら、成績も上位を維持、ということも考えられます。

②**部活動** 強い部活動があるので、そこで頑張りたい。しかし、人気のため部員数が多く、活躍の機会が得られない。部員数は少ない、弱小部活。しかし、活躍の機会はすぐにつかめる、というケースもあります。

II 私立高校の場合

豊島学院高等学校 斎藤建一先生

(1)建学の精神

私立学校には、どんな学校にしたいか、どんな生徒を育てたいか、を表した「建学の精神」というものがあります。必ず確認しましょう。教育活動の目的は、社会性を育てることです。活躍できるのは挑戦することができる学校、人と協力して成長できるのは自分のことを鍛える学校です。

(2)学校の種類

①**高校単独校か中高一貫校か大学附属校か** ②**共学か、女子校か男子校か**

③**カリキュラムはどうか** 公立、私立で単位数に違いがあります。またコース制や累計制など様々な設定もあります。

④**進路相談についても学校によってさまざまです。**

(3)受験の種類

①**単願受験(第一志望の学校のみ受験)か 併願受験(他校が第一志望)か**

※併願受験でも第一志望になりうる、納得する学校を選ぶことが大切です。

②**優遇制度**を設けている学校もある。…個別相談を受けてくるとよいでしょう。

受験料、授業料、入学金などに違いがあります。また補助制度などを設けている学校もあるので相談してみるのもよいでしょう。

